2026
隣保館だより
10月号

福祉と人権のまちづくり

NO.３９１
発行・編集
鹿沼市隣保館
鹿沼市万町 931-1
TEL 0289-64-4776

市からのお知らせ

ときめき鹿沼 2026～人権・男女共同参画のつどい～

「人権尊重」の重要性や「男女共同参画」の推進について広く周知し、皆様の理解を深めるため、「ときめき鹿沼 2026」を開催します。

今回は、各地のホールや学校、保育園や幼稚園などで、親子向けのファミリーエンタテイメントショーを行う「歌う海賊団ッ!」をお迎えし、「パパママみんなでワクワク子育て！」をテーマに楽しいステージをご覧いただきます。なお、歌う海賊団ッ!の「せんちょー。」であるウチダトモヒロさんは、令和４年に鹿沼ふるさと大使に委嘱され、鹿沼市の PR にも協力されています。

と き　12月５日(土)13:30～16:00
（開場13:00）
ところ　かぬまケーブルテレビホール
（鹿沼市民文化センター）小ホール
内 容　・令和8年度人権啓発標語
入賞作品表彰式
・海賊団せんちょー。の講演
・歌う海賊団ッ！ワイワイ親子コンサート
・人権啓発標語、こどもの人権絵画、
男女共同参画クイズの展示
※イベント終了後「人権の花」の苗
プレゼント！
定 員　300人（入場無料）
申 込　11月20日（金）までに右下の
２次元コードから。
※定員を超えた場合は抽選になります
◇ くわしくは：鹿沼市市民部 人権・男女共同参画課
TEL 0289-63-8351

アンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）

アンコンシャスバイアスとは、無意識の思い込みのことを言います。

自分では公平に見ているつもりでも、経験や習慣、周囲の価値観の影響で、ものの見方に偏りが出ることがあります。

厚生労働省や内閣府も紹介をしています。

「人権」は、日常の何気ない人間関係の中で、意識されるべきものですが、私たちはどれほどそのことを意識しているでしょうか？何気なく発した一言や、無意識の判断が、相手にどのように受け取られているのかを考える機会は多くないかもしれません。

もし、意図せず誰かを傷つけてしまった場合は、この「アンコンシャスバイアス」が影響している可能性があります。大切なのは、自分の中にある無意識の思い込みに気づき、それを振り返り、見直すことです。

アンコンシャスバイアスの事例

・性別、世代、学歴などで相手を見る　・血液型で相手の性格をイメージする
・「性別」で仕事や役割を判断する　・男の子は強く、女の子はやさしくの発想
・出身地を必要以上に気にし噂を事実かのように受け取る　等

無意識の思い込みは、誰にでも起こり得るもので、自分自身ではなかなか気付きにくいものです。特に、女性・若者・障がい者・部落問題・LGBTQなどマイノリティに対して現れやすい現象です。

日常、無意識の思い込みをなくすには、自分の中にあるアンコンシャスバイアスに気付き、一人ひとりの違いを尊重し、正しい理解をし自分も相手も暮らしやすい社会づくりを目指すことが大切なことです。

第７回ふれあい事業「輪投げ」

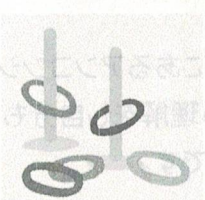
９月１０日（木）午前１０時より、第７回ふれあい事業「輪投げ」を開催し、２１名の参加者がありました。

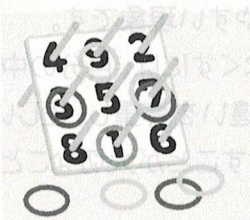
まず開会の挨拶があり、次にチームを２つのチームに分け、大会が始まりました。

参加者は、順番に輪投げを行い一投一投真剣に集中しながら投げ、点数が入ると盛り上がり、入らないと残念そうにしていました。

普段一人暮らしで経験出来ないプレーに皆さん和気あいあいと楽しみ、参加者の皆さんは、「刺激があって楽しめた」「認知の予防になったかな？」など思い思いに感想を述べていました。

最後に得点の多い、上位３チームの発表・表彰を行い、人権グッズの参加賞を全員にお配りし輪投げ大会を終了しました。

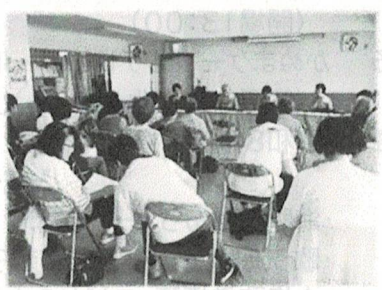
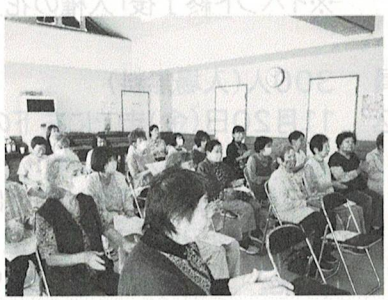




第８回ふれあい事業「大正琴」

９月２４日（木）第８回ふれあい事業を開催しました。

今回は、ふみの会（会長　柴田ふみさんをはじめ４名）の皆さんを講師にお招きをし、２３名の方が参加しました。

会長さんの挨拶の後、演奏へと移り、初秋のこの時期に合わせ「里の秋」「赤とんぼ」から始まり、続けて「東京だよおっかさん」「ああ上野駅」「昭和ごころ」など懐かしい曲を次々に披露してくださいました。

参加者の皆さんも、大正琴の音色とともに曲に合わせ合唱し、昭和の思い出を懐かしみました。ふみの会の皆さん方には、１０数曲を演奏して頂きあっと言う間に１時間３０分の時間が終了し、たのしいひと時を過ごしました。